#### 

### 

- ●ネコブセンチュウに寄生するパスツーリア菌を 有効成分とする天敵微生物農薬である。
- ●パスツーリア菌が土壌中でネコブセンチュウに 付着,寄生し,その体内で増殖することにより, ネコブセンチュウは産卵不能となって次世代の密 度が低下する。
- ●施用後土壌に定着し、作物を連作することにより数年に渡り菌密度が高くなり、センチュウ被害を抑えることができる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

# 【使用上のポイント】……………

●本剤の希釈液を作る時は、付属のネットに少量 ずつ入れながら、少しずつ水に溶かす。 ●いちじくの生育期に使用する場合、土壌表面散布後、灌水して土壌の中に分布させる処置を行う。

## 【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●直接殺センチュウ力はないので、センチュウ密 度が高い場合、殺センチュウ剤や太陽熱消毒等で、 密度を下げてから使用する。
- ●本剤はサツマイモネコブセンチュウだけに効果 を示す。
- ●本剤を使用した後に、クロルピクリン剤や臭化 メチル剤を使うと有効成分のパスツーリア菌が死 滅するので併用しない。
- ●共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項 を参照。

## 【適用と使用法】……

作物名	適用害虫名	希釈倍数 又は使用量	使用液量	使用 時期	本剤の 使用回数	使用方法	パスツーリアペネトランス を含む農薬の総使用回数
野菜類いも類	・ネコブセンチュウ	1 ~ 5 kg /10a	150∼ 200 ℓ /10a	定植前	一		
		0.5g/ 穴	1 ℓ /穴	定植時			_
いちじく		1 ∼ 5 kg /10a	150∼ 200 ℓ /10a	定植前			
			300 ℓ /10a	生育期			